

## 「視覚障がい者対応講座」を実施 ～ 職員90名が受講、講師をモデルに介助を体験 ～

大阪シティ信用金庫（本店 大阪市、理事長 高橋知史）は、1月11日（木）職員を対象に「視覚障がい者対応講座」を実施しました。平成27年から毎年実施し、4回目となります。

当金庫は、障がい者や高齢者が安全で利便性の高いサービスが利用できるようさまざまな取り組みを進めています。その一環として、視覚障がい者に関する正しい知識を身に付け、その対応方法などを習得するために、同講座を継続実施しています。

当日は、大阪市社会福祉協議会と大阪市福祉教育語りの会から講師を招いて、視覚障がい者に出会った時の接し方やさまざまな場所での介助方法について、実演を含めわかりやすく説明を受けました。続いて、当金庫事務部の職員による代筆の取り扱いやサインガイドの使用方法についての研修も実施しました。

今回の受講で得た知識を生かし、障がいのあるお客さまにとって少しでも安心してお取り引きいただけるよう、心のこもった対応を実践し、利便性向上に努めてまいります。

### 記

#### 1. 概要

- (1) 実施日 平成30年1月11日（木）
- (2) 会場 本店10階研修室
- (3) 受講者数 90名
- (4) 講師
  - ・社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会  
畑野 千夏 氏
  - ・大阪市福祉教育語りの会  
鈴木 昭二 氏、山本 美恵子 氏
  - ・当金庫 事務部 職員

#### 2. 視覚に障がいのあるお客さまに配慮した当金庫の主な取り組み

- (1) 視覚障がい者の代筆・代読の実施とサインガイド(自署いただく箇所がわかる型枠)の設置
- (2) 視覚障がい者対応ATMを設置
- (3) 視覚障がい者用 音声による来店案内システムを導入（一部店舗）
- (4) 点字ブロックの敷設、点字による取引記録明細、満期案内の発行等
- (5) 窓口振込手数料をATM扱いと同額に引き下げ



講座の様子



講師をモデルに介助を体験する職員(左)

以上